AI－VOIP－TA

取扱説明書

技術基準適合認証品

このたびは、ネットワークシステム AI900をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
お読みになったあとも、本装置のそばなどいつも手元に置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

また、本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所にお問い合わせいただくか、お買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷(*1)を負う危険が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害(*2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(*3)のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。

*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

注意

この装置は、一般財団法人 VCCI協会の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご利用にあたってのお願い （免責事項について）

- 本装置の仕様は国内向けとなっております。海外ではご利用いただけません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

- 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本装置に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本装置に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。

- 本装置は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本装置内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本装置を廃棄、譲渡、返却される際には、本装置内に保存または保持された情報を取扱説明書**「廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意」**にしたがって消去願います。

- 本装置の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。

- 本装置を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。

- 本書に他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載製品の使用を強制するものではありません。

- 必ずこの取扱説明書をよく読み、理解したうえでお使いください。

- 装置の外観および機能などの仕様、また本書の内容は、改良の目的でお客様にお知らせすることなく変更される場合があります。

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

- 本書の内容及び製品のハードウェア、ソフトウェアについては、将来予告なしに変更することがあります。

- 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意・過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本装置の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本装置の故障・修理・その他取扱いによって、ダウンロードされたデータなどが変化または消失することがあります。その結果生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本装置のFAXポートおよび電話機ポートは、加入電話の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。

- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- お客様ご自身で登録された情報内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどをして保管してくださるようお願いいたします。
- 本装置の通話は盗聴されにくくなっていますが、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合が、全くないとはいえません。この点を十分に留意してご使用ください。

発行元の許可無く本書の記載内容を複写、転写することを禁止します。
All Rights Reserved, Copyrights ASUMO Co., LTD.

・ 記載しているWebブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は 実機にてご確認ください。また、機能向上のためWebブラウザなどの画面は予告なく変更される場合があります。

・ Microsoft、Windows XP は、米国および他の国の Microsoft Corporation の登録商標または商標です。Ethernet は、米国 XEROX 社の登録商標です。イーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。なお、本文中には™ 及び ® の記載は明記しておりません。

設置について

警告

- 本装置、電源アダプタ、モジュラージャックや電話配線のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本装置、モジュラージャックや電話配線に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入ったりした場合、火災・感電の原因となることがあります。

- 本装置や電源アダプタ、その他のコード類は次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

  - 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
  - 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
  - 湿気の多い場所や水･油･薬品などのかかる恐れがある場所。
  - ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
  - 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

- 次のような設置のしかたはしないでください。装置の内部に熱がこもり、火災や感電、故障の原因となります。

  - 本装置に布などをかける。
  - 本装置の周りに物を置く。
  - 本装置を風通しの悪い狭い場所に押し込む。
  - じゅうたんや布団の上に置く。

- 火気の近くには置かないでください。本装置の破損や火災の原因となりますので、絶対に避けてください。

お取り扱いについて

警告

● 電源はAC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 電源アダプタは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
● テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 本装置から異常音がしたり、本体が熱くなっている状態のまま使用したりすると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本装置の電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
● 本装置、モジュラージャックや電話配線に水をかけたり、ぬれた手での操作や電源アダプタの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 本装置の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入ったときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
● 寒い戸外から急に暖かい室内に本装置を持ち込むと、急激な温度変化により、本装置内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が生じたときは電源を切って水滴が蒸発するまでしばらく放置して置いてください。結露したままでお使いになると、故障の原因となります。
● 電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本装置の、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
● 本装置をねじったり、重い物をのせたり、強く押し付けたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

お取り扱いについて

警告

● 万一本装置を落としたり、装置内部、モジュラージャックや電話配線に水などの液体が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
● 本装置を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。（分解、改造された装置は修理に応じられない場合があります）。
● 本装置の配線、電源アダプタのコードなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードおよび配線が破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードおよび配線が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
● 電源アダプタコードおよび本装置までの配線などが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
● 近くに雷が発生したときは、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、ご使用を控えてください。また、雷が激しいときは、本装置に接続しているケーブルに触れないでください。雷による火災・感電の原因となることがあります。
● 本装置、電源アダプタコード類を熱器具に近づけないでください。本装置や電源アダプタコード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
● 電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
● 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
● お客様が用意された機器を本装置に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご相談ください。
● 中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
● 改造された機器をつながないでください。火災・感電・故障の原因となります。

設置について

注意

● 本装置は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ・ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。 ・ 振動、衝撃の多い場所。
● 屋外に渡る配線は行わないでください。特に、建物から建物へ空中を通す配線は雷などによる故障の原因となることがあります。
● 本装置を重ね置きしないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となります。
● 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

お取り扱いについて

注意

● 本装置の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
● 本装置に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
● 本装置を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。
● 本装置を横置きでご使用になる場合、底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
● 本装置をお手入れ、または移動するときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてから行ってください。
● 本装置は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
● ご使用中は本装置が暖かくなりますが、異常ではありません。皮膚に長時間当てないでください。低温やけどをする原因となることがあります。

設置について

お願い

● 本装置を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など） ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります。 ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。 ・ 電磁波が強すぎるときは、本装置が使用できないことがあります。
● 雑音が入る場合、また以下のような場所では、本装置の設置場所を移動してみてください。 ・ 放送局や無線局などが近い場合。 ・ 車やオートバイが近くを通る場合。 ・ 高周波溶接機、高周波ミシン、電気溶接機、ワイヤカッタなどの工作機械の近くで使用する場合。
● 本装置は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。
● 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本装置の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

お願い

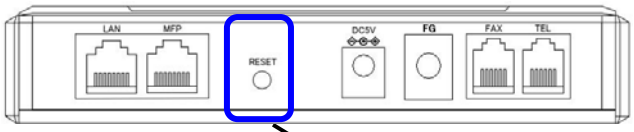
● 本装置をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。 本装置の変色や変形の原因となることがあります。 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
● 停電になった場合、電話をかけたり、受けたりすることができなくなります。 停電に対しては回線終端装置（ONUやCTU）および、AI900システム全体をUPS（無停電電源装置）等につなぐなどの予防措置が必要です。 詳しくは、当社のサービス取扱所にお問合せ下さい。
● ナンバー・ディスプレイや発信者番号表示のご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
● 電話機コードを必要以上に引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
● 本装置を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となることがあります。
● 本装置を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。
● 本装置は、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。 ・ ぬらさないでください。 ・ 浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。 ・ 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。 ・ ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本装置は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品ではありませんが、装置を廃棄、譲渡、返却される際には、本装置内に保存または保持された情報を消去することをお勧めします。
また、本装置のTELﾎﾟｰﾄ および FAXﾎﾟｰﾄに接続した機器内の固有情報の消去については、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

下表にしたがって消去を行ってください。ご不明な点は当社のサービス取扱所にご相談ください。

記録内容	処置
・設定内容	リセットボタンを4秒以上長押して、本装置を初期化します。



RESET ボタンは本体背面にあります。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください i

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意 xi

1　特長 1

1.1　システム構成例 2
1.2　接続可能なアナログ端末台数 2

2　お使いになる前に 3

2.1　セットの確認 3
2.2　各部の名称 4
2.3　かんたん設定について 7
2.3.1　かんたん設定を使用した接続手順 7
2.3.2　かんたん設定にて登録される設定項目 8
2.3.3　TEL ポートを使用する 9
2.4　電話の使用方法 10
2.4.1　電話をかける 10
2.4.2　電話をうける 11
2.4.3　他の電話機の着信に応答する 11
2.4.4　通話の転送 12

3　Web 設定 13

3.1　Web 設定画面の表示 13
3.1.1　Web 設定を行うパソコンの動作環境 13
3.1.2　Web 設定画面の表示方法 13
3.2　Web 設定画面　ページ構成 14
3.2.1　「設定モード」メニュー 15
3.2.2　「ネットワーク設定」メニュー 16
3.2.3　「電話機設定」メニュー 17
3.2.4　「IP 電話設定」メニュー 18
3.2.5　「システム情報」メニュー 19
3.2.6　「工場初期化設定」メニュー 20
3.2.7　「再起動」メニュー 20

3.2.8 「ファームウェア更新」メニュー 21

4 主な仕様 22

5 お問い合わせについて 23

1　特長

● ネットワークシステム AI900の標準 VoIP-TA として、G3FAX機能を搭載した複合機（MFP）を FAX ポートへ接続し、SC（システムコントローラ）に対して SIP クライアントとして登録します。（かんたん設定）

● MFP によるFAX通信は、本装置によって IP パケットに変換され、FAX over IP に対応しています。

● MFP からのメッセージをネットワークに接続している電話機に表示します。（MFP 連携機能）

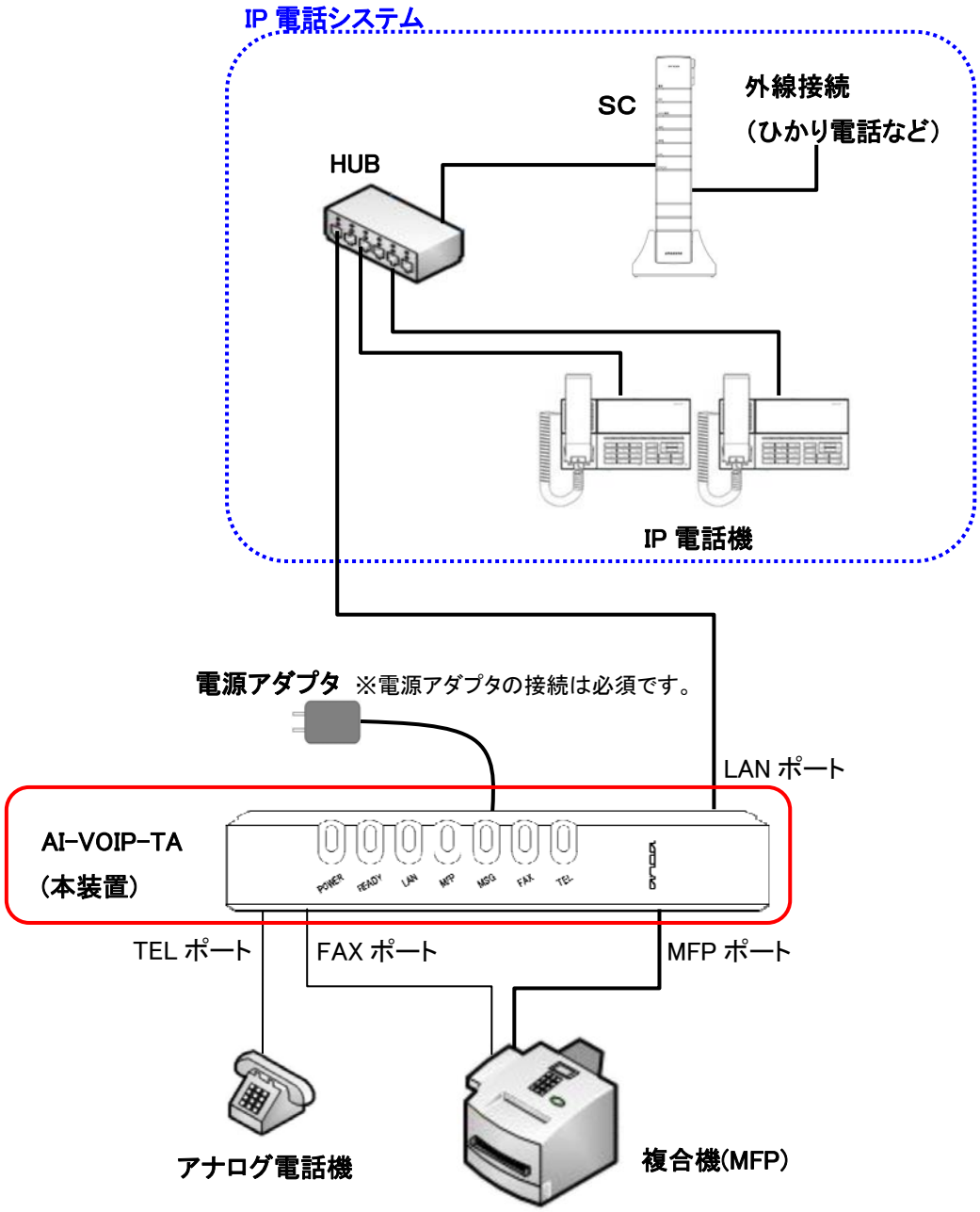
● ネットワークシステム AI900の共通機能である「かんたん設定」に対応し、SC（システムコントローラ）に接続するだけで SIP サーバへの登録が行われ、システム内で MFP を使用することができます。

● 発信者番号を本装置に接続した NTT ナンバーディスプレイ対応 FAX または電話機に通知します。

● システムのネットワークに接続したパソコンから、Web ブラウザを使用して本装置を設定することができます。

● SC（システムコントローラ）から自動ファームアップデートや、連携パソコンからのファームウェア更新ができます。

1.1 システム構成例



1.2 接続可能なアナログ端末台数

項目	内容	備考
接続可能なアナログ端末台数	2台	かんたん設定では、FAX ポートのみ設定可能
登録可能 SIP アカウント数	2	FAX/TEL のポート毎に1アカウントずつ設定

2　お使いになる前に

2.1　セットの確認

● 構成品

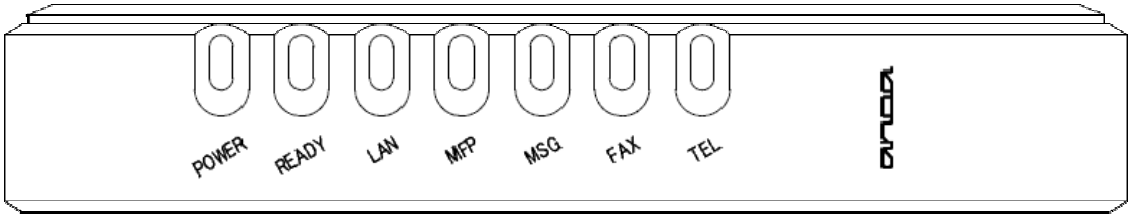
品名	数量
AI-VOIP-TA 本体	1台
電源アダプタ	1個
LAN ケーブル（3m）	2本
2芯コード（3m）	2本

☆ ポイント

セットに足りないものがある場合は、サービス取扱所にご連絡ください。

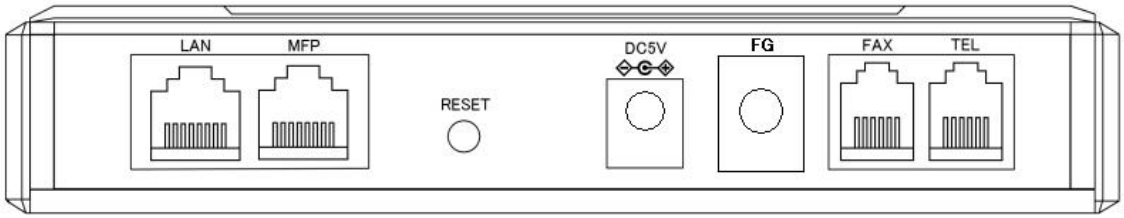
2.2 各部の名称

● 本体前面・ランプ表示



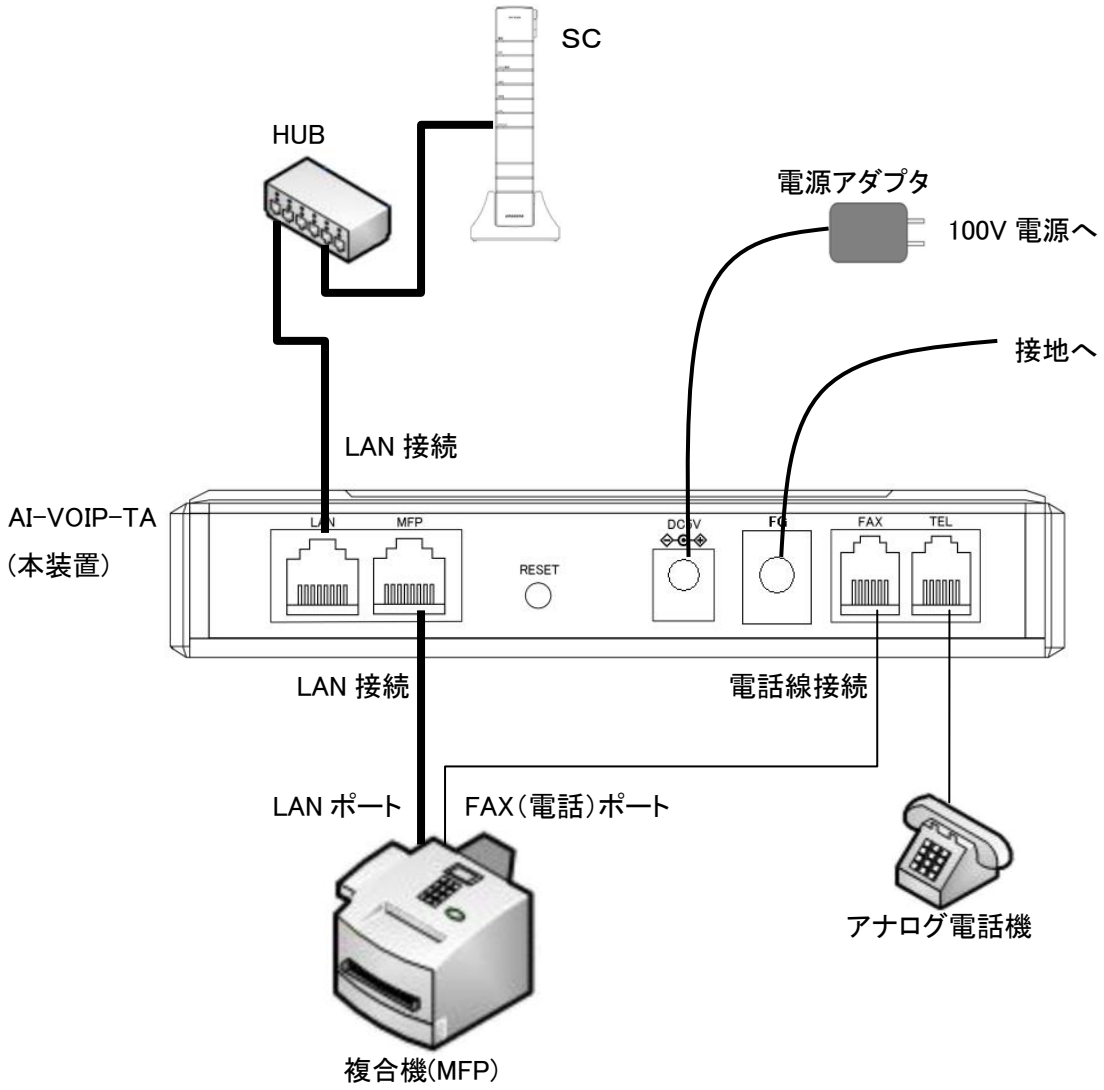
名称	機能	色	状態	表示内容
POWER	電源ランプ	緑	消灯	電源OFF
			点灯	電源 ON
READY	装置状態ランプ	緑	消灯	装置初期設定の開始前状態
			点滅	装置初期設定中
			点灯	装置初期設定の完了
LAN	LAN ポート 接続ステータスランプ (上位ネットワーク LAN 接続)	緑	消灯	LAN ポート LAN 接続なし
			点灯	LAN ポート 接続状態
			点滅	LAN ポート 通信中
MFP	MFP ポート 接続ステータスランプ (MFP 機器 LAN 接続)	緑	消灯	MFP ポート LAN 接続なし
			点灯	MFP ポート 接続状態
			点滅	MFP ポート 通信中
MSG				(常時消灯)
FAX	FAX ポート 接続ステータスランプ (MFP 機器 FAX 接続)	緑	消灯	FAXポート 使用不可/設定中
			点灯	FAXポート 使用可能
			点滅	FAXポート 通信中
TEL	TEL ポート 接続ステータスランプ (アナログ電話機接続)	緑	消灯	TEL ポート 使用不可/設定中
			点灯	TEL ポート 使用可能
			点滅	TEL ポート 通信中

● 本体背面/ポート



名称	機能	備考
LAN	SC（システムコントローラ）が接続されているネットワークに接続します。	
MFP	MFP の LAN 端子を接続します。	
RESET	本体の再起動、初期化を行います。	1回押しで再起動します。 4秒以上の長押しで初期化します。
DC5V	付属の電源アダプタを接続します。	
FG	接地用端子です。	
FAX	MFP の FAX 端子を接続します。	かんたん設定で自動設定します。
TEL	アナログ電話機を接続します。	手動設定が必要です。

● 機器の接続例


SC
HUB
電源アダプタ
100V 電源へ
接地へ
LAN 接続
AI-VOIP-TA
(本装置)
LAN
MFP
RESET
DC5V
FG
FAX
TEL
LAN 接続
電話線接続
LAN ポート
FAX(電話)ポート
アナログ電話機
複合機(MFP)

2.3 かんたん設定について

本装置は、ネットワークシステム AI900のかんたん設定に対応しています。本装置に接続する機器を準備し、ネットワークシステム AI900にケーブルを接続するだけで、主要な設定情報(LAN ネットワーク設定、電話設定)が反映されます。

★ 注意

- TEL ポートを使用した電話機接続の設定は、かんたん設定では行なわれません。TEL ポートをご使用の場合は、SC(システムコントローラ)と本装置双方への設定が必要です。詳しくは、「**2.3.3 TEL ポートを使用する**」を参照下さい。
- MFP の装置自身には設定が反映されませんので、別途 MFP の設定が必要となります。設定方法につきましては MFP の取扱説明書を参照ください。

2.3.1 かんたん設定を使用した接続手順

1. 本装置の「LAN」ポートとSC(システムコントローラ)の「LAN」ポートを、HUB 等を介して LAN ケーブルで接続します。

2. LAN ケーブルを使用して「MFP」ポートと MFP を接続し、電話機コードを使用して「FAX」ポートと MFP の FAX 用ポートを接続します。

3. その後に「本装置」、「MFP」の順に電源を投入します。かんたん設定により、自動で主要な設定が反映されます。

☆ ポイント

かんたん設定が完了すると、本装置前面 LED の「READY」「FAX」が緑色で点灯します。この状態で以下の操作が可能となります。

- FAX ポートに内線電話番号が設定され、電話操作が可能となります。
- MFP ポートに接続された装置で IP アドレスが取得できます。

2.3.2 かんたん設定にて登録される設定項目

項目名	設定内容
IP Type （IP ｱﾄﾞﾚｽ種別）	「Dynamic IP（DHCP による自動取得）」に設定されます。（固定）
DNS Server Configuration （DNS ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ種別）	「Automatic（DHCP による自動取得）」に設定されます。（固定）
NTP （NTP ｻｰﾊﾞの使用）	「Enable（有効）」に設定されます。（固定）
IP Address （IP ｱﾄﾞﾚｽ）	SC（システムコントローラ）の DHCP 機能により設定値を自動取得します。
Gateway IP （ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ）	
Subnet Mask （ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ）	
Primary DNS IP （DNS ｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ）	
Primary NTP Server Address （NTP ｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ）	
Proxy Server IP（or Domain） （SIP ｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ）	SC（システムコントローラ）から設定値を自動取得します。
Proxy Server Port （SIP ｻｰﾊﾞﾎﾟｰﾄ）	
Register Server IP（or Domain） （REGISTER ｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ）	
Register Server Port （REGISTER ｻｰﾊﾞﾎﾟｰﾄ）	
FAX ID（User ID 1） （FAX ﾕｰｻﾞ ID）	SC（システムコントローラ）のオートプロビジョニング機能により自動的にSCに登録され、設定値を自動取得します。
FAX Password （FAX ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ）	
FAX Number （FAX 電話番号）	
FAX Displayname （FAX SIP ﾄﾞﾒｲﾝ名）	

2.3.3 TELポートを使用する

かんたん設定にてネットワーク設定および電話機能のサーバ設定、FAX ポート設定が自動的に行われますが、TEL ポートの設定については本装置、およびSC（システムコントローラ）にて手動で設定を行う必要があります。

☆ ポイント

電話設定で使用するサーバ(SIP サーバ、REGISTER サーバ)については、FAX ポート、TEL ポートとも共通の設定となります。かんたん設定によりサーバ設定は完了しておりますので、追加する設定は TEL ポートの内線番号およびログイン設定のみとなります。

1. SC（システムコントローラ）の設定

SC（システムコントローラ）においては、以下の設定を追加します。SCの設定につきましては、SCの管理者にお問い合わせください。

- 内線電話番号の追加
- 追加した内線電話番号を使用するためのログイン設定
  （端末のアカウント、パスワード、その他必要に応じて設定）

2. 本装置の Web 設定画面を表示する

Web 設定画面の表示方法について詳しくは「**3.1 Web 設定画面の表示**」を参照下さい。

3. TEL ポートの設定を行う

「IP 電話設定」メニューを表示し、以下の項目を設定します。

- Telephone ID（User ID 2）
- Telephone Password
- IP Telephone Number
- Telephone Displayname （必要に応じて入力してください。）

設定後、「入力」ボタンを押して入力内容を確定します。

4. 本装置の再起動

Web 設定メニュー画面から「再起動」メニューを表示し「再起動」ボタンを押して再起動を行います。再起動後、設定が反映され、正常にSC（システムコントローラ）との設定が完了すると、本装置前面 LED の「TEL」が緑色に点灯し、TEL ポートで電話機能が使用できるようになります。

2.4 電話の使用方法

FAX ポート及び TEL ポートについて、使用可能な状態になると各ポートの LED が点灯します。このとき、各ポートに接続したアナログ電話機を使用して電話をかける、電話をうける操作ができます。

★ 注意

アナログ電話機の詳細な操作方法につきましては、アナログ電話機の取扱説明書を参照ください。

2.4.1 電話をかける

電話をかけるには、以下の操作を行ないます。

1. アナログ電話機のハンドセット(受話器)を上げると、「ツーーー…」と発信音が聞こえます。
2. 電話番号を入力します。
   番号を入力後、約5秒待つと入力した番号あてに電話をかけます。

   ☆ ポイント
   - 電話番号によって外線と内線を自動的に区別して電話をかけます。
   - PB(トーンダイヤル)に対応した電話機であれば、電話番号入力後[＃]キーを押すと、すぐに電話をかけることができます。
   - 番号を入力してから電話をかけるまでの時間は、Web 設定画面から「電話機設定」メニューの「Critical IDT(Inter Digit Timer)」にて変更が可能です。詳しくは「**3.2.3 「電話機設定」メニュー**」を参照下さい。

   ★ 注意
   - FAX ポートと TEL ポートを両方使用しているとき、FAX と TEL の間で内線電話をかけることはできません。

3. 電話をかけた相手が応答したらお話しします。
4. 通話が終了したらハンドセット(受話器)をおきます。

2.4.2 電話をうける

電話がかかってきたときには、アナログ電話機から着信音が鳴ります。ハンドセット（受話器）を上げて電話に応答します。

☆ ポイント

電話機の種類によっては、内線着信と外線着信で着信音が切り替わります。

2.4.3 他の電話機の着信に応答する

他の電話機が着信中のとき、PB（トーンダイヤル）に対応した電話機であれば、ハンドセットを上げ[＊]キーを押すと代わりに応答することができます。

★ 注意

SC（システムコントローラ）の設定で同一グループに登録されている電話機同士で応答が可能であり、グループに登録されていない電話機では応答することはできません。グループの設定は、SC（システムコントローラ）で行います。詳しくはSC（システムコントローラ）の管理者にお問い合わせください。

2.4.4 通話の転送

通話中の電話を別の電話機に転送することができます。

1. 通話中にフックボタンを押します。ハンドセット（受話器）には「ツーツーツーツー…」と内線発信音が聞こえます。

   ★ 注意

   通話の相手先は通話中の状態を維持しますが、無音となります。転送操作を行なう前に、相手先に転送する旨をお伝えすることをお勧めいたします。

2. 転送先の内線電話番号を入力します。

   番号を入力後、約5秒待つと入力した番号あてに電話をかけます。

   ☆ ポイント

   - 転送先が応答する前までにフックキーを押すと、転送を中断して相手先と通話を再開できます。
   - 転送先が応答する前までにハンドセット(受話器)を置いて電話を切ると、転送中断となり、電話機に呼戻着信音が鳴ります。
   - 番号を入力してから電話をかけるまでの時間は、Web 設定画面から「電話機設定」メニューの「Critical IDT(Inter Digit Timer)」にて変更が可能です。詳しくは「**3.2.3 「電話機設定」メニュー**」を参照下さい。

3. 転送先の相手が応答したら、ハンドセット（受話器）を置くと、転送先と転送前の相手との間で話ができるようになります。

3　Web設定

3.1　Web設定画面の表示

本装置の設定につきましては、ネットワーク上のパソコンから Web 設定画面にて行います。

★ 注意

Web 設定画面を表示するためには、事前に本装置に設定された IP アドレスを確認する必要があります。詳細はSC（システムコントローラ）の管理者にお問い合わせください。

3.1.1　Web設定を行うパソコンの動作環境

項目	動作環境
OS	Windows XP SP2（日本語版）以上
ブラウザ	Internet Explorer 6（日本語版）以上 ※JavaScript を使用します。
画面サイズ	1024 x 768 以上を推奨
ネットワーク環境	LAN 接続（10BASE-T 以上）

3.1.2　Web設定画面の表示方法

1．Web 設定画面を表示するには、ネットワークに接続したパソコンからブラウザを使用して表示します。ブラウザのアドレス欄に以下の通りアドレスを入力します。

例：本装置の IP アドレスが 192.168.1.53 の場合、以下の URL を入力します。

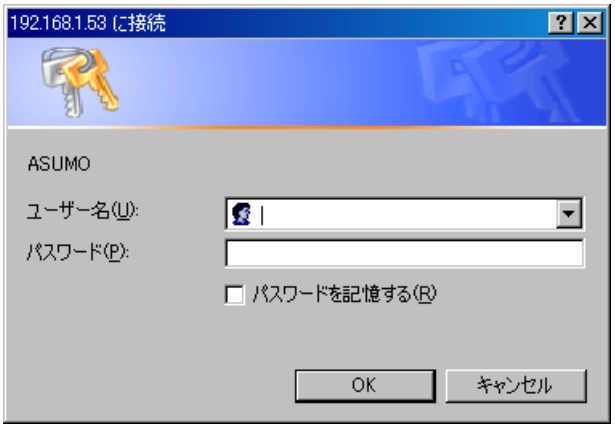
http://192.168.1.53:8080/

2. パスワード入力画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力します。

お買い上げ時の設定は以下の通りです。

ユーザー名： admin

パスワード： master

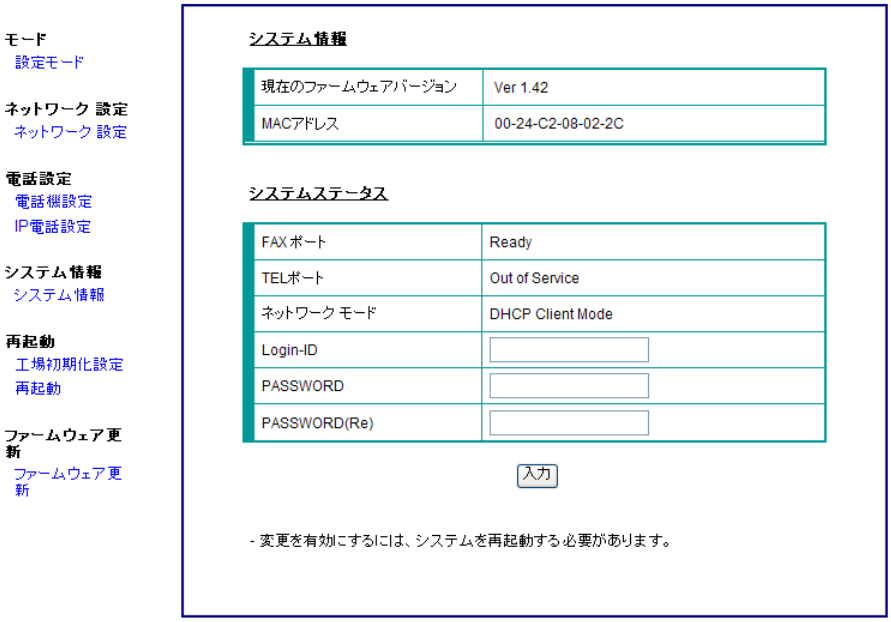


☆ ポイント

ユーザー名、パスワードは、Web 設定画面で変更することができます。

3.2 Web設定画面 ページ構成

ログインすると、Web 設定項目のメイン画面が表示されます。画面左側にメニューが表示され、メニューをクリックすると、その項目の画面が右側に表示されます。



● メニュー項目の一覧

メニュー項目		内容	参照
モード	設定モード	かんたん設定のモード選択を行います。*1	3.2.1「設定モード」メニュー
ネットワーク設定	ネットワーク設定	IP アドレスなどのネットワークに関する設定を行います。*1	3.2.2「ネットワーク設定」メニュー
電話設定	電話機設定	接続するアナログ電話機の設定を行います。	3.2.3「電話機設定」メニュー
	IP 電話設定	SIP サーバなどの IP 電話に関する設定を行います。	3.2.4「IP 電話設定」メニュー
システム情報	システム情報	現在の装置の状態とログインの設定を行います。	3.2.5「システム情報」メニュー
再起動	工場初期化設定	設定の初期化を行います。	3.2.6「工場初期化」メニュー
	再起動	再起動を行います。	3.2.7「再起動」メニュー
ファームウェア更新	ファームウェア更新	ファームウェアの更新を行います。	3.2.8「ファームウェア更新」メニュー

*1 設定モードやネットワーク設定の変更により、ネットワークからの設定が行えなくなる場合があります。設定の変更には十分ご注意ください。

設定を変更する場合は、該当する項目にて設定を変更後、違う画面に移動する前に画面下の「入力」ボタンを押すと電話機に設定が反映されます。なお、一部の項目は電話機の再起動が必要となります。(Web 設定画面上に表示します。)

設定反映前に画面左側のメニュー項目を押すと、変更した内容が元の状態に戻ります。

3.2.1 「設定モード」メニュー

本装置の動作モードを設定します。設定を変更するには、項目を変更して「入力」ボタンを押します。その後本装置の再起動を行うと設定内容が反映されます。

項目名	設定項目	初期値
設定モード	・かんたん設定モード ・手動設定モード	かんたん設定モード

3.2.2 「ネットワーク設定」メニュー

本装置の IP ネットワーク環境および Web 設定画面に使用するポート番号を設定します。

★の項目はかんたん設定モードご利用時には自動的に設定され、変更することはできません。設定モードを「手動設定モード」 および ネットワーク設定の「IP Type」を「Static IP」モードに変更してから設定変更を行ってください。

設定を変更するには、「ネットワーク設定」メニューの各項目を変更して「入力」ボタンを押します。その後本装置の再起動を行うと設定内容が反映されます。

項目名	設定項目	初期値	かんたん設定
IP Type	Dynamic IP（DHCP による自動取得）/Static IP（手動設定）を選択します。	Dynamic IP（DHCP による自動取得）	★
IP Address *1	本装置のIPアドレスを入力します。	192.168.1.252（手動設定時）	★
Gateway IP *1	デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。	192.168.1.1（手動設定時）	★
Subnet Mask *1	サブネットマスクを入力します。	255.255.255.0（手動設定時）	★
DNS Server Configuration *1	Automatic（DHCP による自動取得）/Manual（手動設定）を選択します。	Automatic（DHCP による自動取得）	★
Primary DNS IP *1	DNS サーバアドレスを入力します。	192.168.1.1（手動設定時）	★
Secondary DNS IP *1（セカンダリ）	セカンダリ DNS サーバのアドレスを入力します。	0.0.0.0（手動設定時）	★
NTP *1	Enable（有効）/Disable（無効）を選択します。	Enable（有効）（手動設定時）	★
Primary NTP Server Address *1	NTP サーバアドレスを入力します。	192.168.1.1（手動設定時）	★
Secondary NTP Server Address *1	セカンダリ NTP サーバアドレスを入力します。	0.0.0.0（手動設定時）	★
HTTP Port	Web 設定画面ポート番号を入力します。	8080	★

*1 IP アドレス種別が DHCP による自動取得の場合、設定することはできません。

3.2.3 「電話機設定」メニュー

本装置とアナログ電話機間の設定を行います。お使いの環境に合わせて設定を行ってください。

設定を変更するには、各項目を変更して「入力」ボタンを押します。その後本装置の再起動を行うと設定内容が反映されます。

項目名	設定項目	初期値
DIAL PULSE (接続電話機の回線種別)	PB/10PPS を選択します。	PB
Number(Caller ID)Display (ナンバーディスプレイ機能の表示選択)	Enable(使用する)/ Disable(使用しない) を選択します。	Disable(使用しない)
Critical IDT(Inter Digit Timer) (ダイヤル入力後、電話をかけるまでに待つ時間の設定)	ダイヤル桁間タイマを選択します。 ・4 秒 ・5 秒 ・6 秒 ・7 秒 ・8 秒	5 秒

3.2.4 「IP電話設定」メニュー

本装置とSC（システムコントローラ）間の設定を行います。

★の項目はかんたん設定モードご利用時には自動的に設定され、変更することはできません。設定モードを「手動設定モード」に変更してから設定変更を行ってください。

設定を変更するには、「IP電話設定」メニューの各項目を変更して「入力」ボタンを押します。その後本装置の再起動を行うと設定内容が反映されます。

項目名	設定項目	初期値	かんたん設定
Proxy Server IP（or Domain）	SIP サーバアドレスを入力します。	192.168.1.1	★
Proxy Server Port	SIP サーバポート番号を入力します。	15060	★
Register Server IP（or Domain）	REGISTER サーバアドレスを入力します。	192.168.1.1	★
Register Server Port	REGISTER サーバポート番号を入力します。	15060	★
FAX ID（User ID 1）	FAX ユーザ名を入力します。	設定なし	★
FAX Password	FAX パスワードを入力します。	－	★
FAX Number	FAX 電話番号を入力します。	設定なし	★
FAX Displayname	FAX SIP ドメイン名を入力します。	設定なし	★
Telephone ID（User ID 2）	TEL ユーザ名を入力します。	設定なし	
Telephone Password	TEL パスワードを入力します。	－	
IP Telephone Number	TEL 電話番号を入力します。	設定なし	
Telephone Displayname	TEL SIP ドメイン名を入力します。	設定なし	

☆ ポイント

ネットワークシステム AI900の「かんたん設定モード」では、FAX ポートのみ自動設定することができます。

TEL ポートにアナログ電話機等を接続して使用する場合は、TEL ポート用のサーバ設定を手動で入力する必要があります。詳しくは「**2.3.3 TEL ポートを使用する**」を参照ください。

3.2.5 「システム情報」メニュー

電話機のシステム情報およびステータス状態を表示します。また、Web 設定画面のログイン ID とパスワードの設定を行います。設定を変更するには、項目を変更して「入力」ボタンを押します。その後本装置の再起動を行うと設定内容が反映されます。

項目名	設定項目	初期値
現在のファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。	―
MAC アドレス	LAN ポートの MAC アドレスを表示します。	装置固有の値を表示
FAX ポート	FAX ポートの設定状況を表示します。（通信可能／通信不可）	―
TEL ポート	TEL ポートの接続状況を表示します。（通信可能／通信不可）	―
ネットワークモード	IP 取得方法を表示します。	―
Login-ID	ログイン時のユーザー名を変更時入力します。	admin
PASSWORD	ログイン時のパスワードを変更時入力します。	master
PASSWORD（Re）	ログイン時のパスワードを変更時入力します。(同じ内容を再入力)	―

3.2.6 「工場初期化設定」メニュー

本装置の設定を全て工場出荷時の初期状態に戻します。

「工場初期化設定」メニューを選択すると、警告メッセージとともに「工場初期化」ボタンが表示されます。ボタンを押すと、本装置が初期設定に戻ります。その後本装置の再起動を行うと初期設定の状態で装置が起動します。

★ 注意

初期化を行うと、設定していた内容が全て削除されますのでご注意ください。

☆ ポイント

Web 画面が表示できない場合は、本体背面の「RESET」ボタンを4秒以上長押しすることにより工場出荷時の初期状態に戻すことができます。

3.2.7 「再起動」メニュー

本装置の再起動を行います。

「再起動」メニューを選択すると、確認メッセージとともに「再起動」ボタンが表示され、本装置が再起動します。

設定を変更した場合は、変更内容が反映された状態で起動します。

3.2.8 「ファームウェア更新」メニュー

現在のファームウェアバージョンの詳細を表示します。また、ファームウェアの更新を行います。

項目名	設定項目
ファームウェア	現在のファームウェアバージョンを表示します。
バージョン	現在のファームウェアバージョンの詳細を表示します。
新しいファームウェア	パソコンから新しいファームウェアを選択します。 下記のファームウェアの更新手順に従い更新を行ってください。

● ファームウェアの更新手順

ファームウェアの更新を行う際は、以下の手順にて実施いたします。

1. Web 設定ページを表示する。
2. 「ファームウェア更新」メニューを表示する。
3. 「新しいファームウェア」欄の「参照」ボタンを押す。ファイル選択ウィンドウが表示されるので、更新するファイルを選択する。
4. 「アップグレード」ボタンを押し、ファイルの更新を実施する。
5. 「再起動」メニューから再起動を実施する。
6. 再度 Web 設定ページを表示し、「システム情報」メニューを選択する。
7. 「現在のファームウェアバージョン」欄において、更新を行ったバージョンが表示されていることを確認する。

☆ ポイント

ファームウェアの更新は、SC（システムコントローラ）から行うこともできます。詳しくはSCの取扱説明書をご確認ください。SCからファームウェアの更新を行うには、「ネットワーク設定」メニューの HTTP Port を「8080」（初期値）に設定しておく必要があります。

4　主な仕様

LAN インターフェース （LAN 側）	RJ-45 接続コネクタ	
	10BASE-T/100BASE-TX	自動速度切替
寸法　幅×奥行×高さ	約140mm×約130mm×約30mm	突起部を除く
質量	約0．23kg	電源アダプタを除く
定格電圧	DC5V	
定格電流	約1．3A	
使用環境	温度　0℃～40℃	
	湿度　20%～80%	結露のないこと

● 仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

5　お問い合わせについて

製品についてのご相談や取り扱い方法等についてご不明の点がございましたら、
下記のテクニカルサポートへお問い合わせください。

■テクニカルサポート

受付時間　9:00～18:00（土・日・祝日を除く）

電話　　0120－183－808

FAX　042－707－4827

アノア ホームページ　http://anoa.asumo-inc.com/

※ アノア・ホームページでは、各種製品の最新の情報などを提供しております。
本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧頂くことをお勧め致します。

製造元：株式会社 アスモ

〒108-0074 東京都港区高輪二丁目 18 番 10 号 日石高輪ビル 10 階

2009 年 11 月　 第 2.0 版